



World Supersport Championship

round - 3 Spain April 15

大久保光一予戦 10 番手 決勝リタイヤ

World Supersport Championship (WSS) 第3戦がスペインのモーターランド・アラゴンで開催されました。大久保光は金曜日に行われたフリー走行で13番手につけ、11番手以下によるQ1(予選)に出走、そこで、トップタイムをマークして、上位12名による最終予選に挑みました。すぐに自己ベストを記録して、ピットイン、タイヤ交換して、更なるタイムアップを目指しましたが、トラブル発生で、タイムアップすることが出来ずに10番手に留まってしまいます。

決勝朝の走行では、決勝を見据えてユーズドタイヤを装着して、シミレーションし、グリッドに着きました。決勝は16ラップで争われます。感触は良く、追いつけて行こうと決意してスタートしましたが、ラスト5ラップには、変調を感じます。11ラップ目には、エンジントラブルに見舞われてしまいます。白煙が上がり、コースサイドにマシンを止め、エンジンブローで、そのままだりタイヤとなっていました。

エンジンは載せ替えたばかりの新しいものでしたので、チームにとっても、トラブルリタイヤは信じられない結果です。せっかくの好調を結果に結びつけることが出来ずに、レース後は、暗い雰囲気ではありましたが、トップ争いに迫る大久保の走りは、チームの期待を大きくするもので、次戦への大きな手応えを感じるものでもありました。それは、チーム雰囲気を前向きに変える力があり、今回の教訓を得て、マシンの確認作業を更にしっかりと、挑むことを、スタッフと約束することになりました。まだ、まだ、大久保の挑戦は始まったばかりです。ここからの奮起に大きな期待が集まっています。

大久保光

「僕自身の調子は悪くなく、決勝でもトップが見えていましたし、追いつけてトップ争いに追いつけそうでした。マシンの調子がおかしいと感じましたが、なんとか、だましだましでも、走り切って、結果を残したいと思いましたが、白煙が上がり、周りに迷惑をかけることは避けたいので、それを断念しました。エンジンは新しいものを使っていたので、まさかのトラブルでした。

リタイヤというのは、とても残念ですが、チームの雰囲気も悪くなく、一丸となって、次には、しっかりと結果を残そうと気持ちは前向きです。これまで、流れは良くないですが、まだ、残り9戦、シーズン始まったばかり、これからの戦いで、取り返して行こうと思っています。次は、レース開催サーキットの中で、1番苦手なオランダです。その苦手意識を克服して、これまでの流れを変えるレースが出来るように集中して行きます。変わらぬ声援をお願いします」

※次戦は4月22日オランダで開催されます。

◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo.co.jp [大久保 光]

Kawasaki



LAU-TEC



モーター油



モーター油

